

大規模施設園芸への 生産管理支援システムの導入

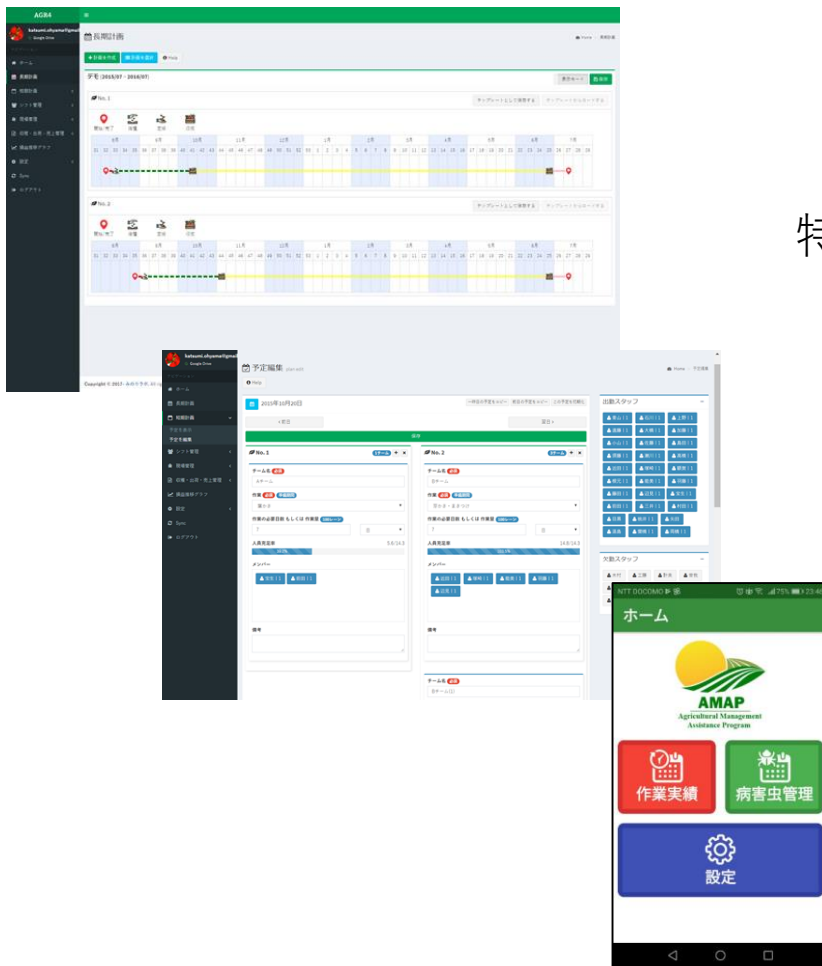
大阪府立大学
農研機構野菜花き研究部門
シャープ株式会社
みのりラボ株式会社
株式会社チャスキー
株式会社大和コンピューター
大分県西部振興局
株式会社タカヒコアグリビジネス

【現状における課題】

- ・大規模施設園芸では生産管理を支援するためのシステムを使用することが少ない。
- ・そのために、管理者の負担が大きく、非常に苦勞している場面が散見される。
- ・また、管理者の知識や経験といった力量が生産管理の良否に影響してしまう。

【課題解決の手段】

生産管理支援システム



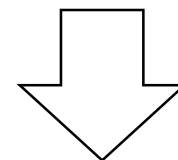
特徴

- ①生育予測機能による要員数の適正化
- ②AIによるシフト計画最適化機能
- ③入力はPC、スマホで容易
- ④ベンチャーの機動力で安価に提供
- ⑤計画の確度向上

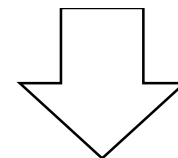
【システム実装のメリット】



大規模施設における
生産管理を
生育予測やAIの活用
により適正化



人件費を5%低減
売上を10%上昇



生産性を15%向上